

講義名	栄養指導論Ⅱ
開講学年	2年
講義開講時期	前期
開講曜日・時間	火曜日2・3目時間目
単位	2

担当教員

木原 憲子
-------

授業の達成目標	・対象別(ライフステージ別)にその特徴、食生活上の問題点を理解し、栄養教育(指導)方法を習得する。 ・疾病者、障害者、アスリートの栄養の特性を理解し、栄養教育(指導)プログラムの検討を行うことができる。
授業の概要	栄養教育(指導)の目的と必要性を学ぶ。 対象者に適切で効果的な栄養教育(指導)を行うため、行動科学理論、アセスメント方法や栄養教育プログラムの作成方法を学ぶ
授業形式	講義(事例検討、実践も含む)、パワーポイント(スライド)を使用

授業計画表

回	項目	内容	キーワード 備考
1	栄養指導と関係法規	栄養指導の必要性 関係法規(栄養士法・健康増進法・学校給食法・食育基本法)	
2	妊娠、授乳期の栄養指導(教育)	特性と留意事項、母性の育成と栄養指導 妊娠、授乳期の栄養教育のためのアセスメント	
3	乳児期の栄養指導(教育)	特性と留意事項、乳児期の栄養指導 食事・生活リズム・味覚・嗜好の形成 乳児期の栄養教育のためのアセスメント	
4	幼児期の栄養指導(教育)	特性と留意事項、乳児期の栄養指導 幼児期の栄養教育のためのアセスメント	
5	学童期の栄養指導(教育)	特性と留意事項、学童期の栄養指導 学校における食に関する指導 学童期の栄養教育のためのアセスメント	
6	思春期の栄養指導(教育)	特性と留意事項、思春期の栄養指導 思春期の栄養教育のためのアセスメント ボディイメージとメディアリテラシー	
7	成人期の栄養指導(教育)	特性と留意事項、成人期の栄養指導 (年代別、職域別、更年期、メタボリ	

		ックシンドローム)成人期の栄養教育のためのアセスメント	
8	高齢期の栄養指導 (教育)	特性と留意事項、高齢期の栄養指導 介護保険制度と栄養教育 (一次予防、二次予防、要支援、要介護高齢者)	
9	傷病者の栄養指導 (教育)	傷病者の健康・生活の特性 診療報酬の算定方法、医療と保健・福祉の連携 傷病者の栄養教育のためのアセスメント	
10	障がい者の栄養指導 (教育)	障がい者の栄養と特性 障がい者の栄養と留意事項、要点	
11	アスリートの栄養指導 (教育)	アスリートの特性と栄養教育 (体づくり期、試合期、休養期) 成長期のスポーツ栄養	
12	活動分野で行う栄養指導 (教育) (演習)	病院、産業、福祉、学校、行政、施設など 課題演習	
13	SAT ヘルスカウンセリング、コーチングの栄養指導 (教育) への適応	SAT ヘルスカウンセリングの特徴と有効性 基本姿勢、進め方、コーチングとは	
14	栄養指導論 II まとめ	イフステージにおける栄養指導の課題 質疑応答	
15	テスト		

事前・事後学習の内容	事前 教科書の指定範囲を熟読し、事柄について下調べをしておく 毎日、自分の食事記録をする 事後 ノートをしっかり整理する、分からない箇所があれば質問する、文献などで調べる
成績評価の方法	課題20%、授業態度10%、テスト70% 評価基準は合計90点以上:S、85~89点:A+、80~84点:A、75~79点:B+、70~74点:B、65~69点:C+、60~64点:C、59点以下:Dとし、Dは不合格とする。 ただし、出席が2/3未満の場合は評価をせず不合格とする。
参考書	栄養教育論 医歯薬出版株式会社
教材	適宜プリントの配布